

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↗ 56	40	百日咳	→ 0	0
RSウイルス感染症	↗ 63	59	ヘルパンギーナ	→ 4	4
咽頭結膜熱	↗ 42	39	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↗ 17	11
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗ 74	66	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↘ 905	1116	流行性角結膜炎(はやり目)	→ 17	17
水痘	↗ 111	96	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↘ 37	39	無菌性髄膜炎	→ 0	0
伝染性紅斑(りんご病)	↘ 0	1	マイコプラズマ肺炎	↘ 0	2
突発性発しん	↘ 40	45	クラミジア肺炎	↗ 2	0

**報告が多い感染症**

- 感染性胃腸炎
- 水痘
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

- 感染性胃腸炎は、報告数 905 件(前週報告数 1,116 件)と減少。地区別では、有明、天草、山鹿に多く報告がみられます。年齢別では、10～14歳の122件を最多に幅広い年齢層からの報告です。
- 水痘は、報告数 111 件(前週報告数 96 件)と増加。地区別では、八代、宇城、菊池に多く報告がみられます。年齢別では、1歳の30件を最多に主に6歳以下からの報告です。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、報告数 74 件(前週報告数 66 件)と増加。地区別では、菊池、熊本、人吉に多く報告がみられます。年齢別では、6歳の18件を最多に主に10～14歳以下からの報告です。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
熊本市保健所	4	17	20	32	292	25	8		17		1	8		16				2
山鹿保健所	1	10			51				2					*	*			
菊池保健所	2	9	14	20	81	13	3		5		1	1						
阿蘇保健所	1			1	8									*	*			
御船保健所					17									*	*			
八代保健所	3	12		3	42	28			5									
水俣保健所		1		2	31				2			1	*	*				
人吉保健所	2	1		6	46	9	1		3				*	*				
有明保健所	26	4	2	5	147	10	18		2					1				
宇城保健所	17	6	2	2	74	18	2		2			3						
天草保健所		3	4	3	116	8	5		2		2	4						
計	56	63	42	74	905	111	37	0	40	0	4	17	0	17	0	0	0	2

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5 ヵ月	6~11 ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳 以上
インフルエンザ	56	1		1				3	1	9	3	5	21	1	3	5	1	1			
小児科定点年齢	合計	0~5 ヵ月	6~11 ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上						
RSウイルス感染症	63	9	15	24	6	5	3	1													
咽頭結膜熱	42		5	3	3	9	7	3	1			2	2								
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	74				3	6	9	8	18	7	6	3	13		1						
感染性胃腸炎	905	7	44	107	76	86	81	64	71	53	52	35	122	23	84						
水痘	111	2	5	30	28	22	13	3	6				2								
手足口病	37	1	8	21	2	3	1								1						
伝染性紅斑	0																				
突発性発しん	40	3	22	15																	
百日咳	0																				
ヘルパンギーナ	4			4																	
流行性耳下腺炎	17			2	1	1	3	2	1	1	1	3	1		1						
眼科定点年齢区分	合計	0~5 ヵ月	6~11 ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0																				
流行性角結膜炎	17			1					1	1			2	1	2	3	2	2	1	1	1
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0																				
無菌性髄膜炎	0																				
マイコプラズマ肺炎	0																				
クラミジア肺炎	2		1			1															

**大きな流行が発生  
又は継続しつつある地域**

- 感染性胃腸炎: 熊本、山鹿、菊池、水俣、人吉、有明、宇城、天草
- 咽頭結膜熱: 菊池
- 水痘: 八代

**感染性胃腸炎 警報レベル 継続中!!**

**インフルエンザ 増加の兆し!!**

今週の感染性胃腸炎の報告数は905件(前週 1,116件)で、引き続き警報レベルにあります。地域別では、熊本、山鹿、菊池、水俣、人吉、有明、宇城、天草の8地域が警報レベルにあります。  
【ノロウイルスを予防する4つのポイント】  
①生ものは極力避け、85℃で1分以上加熱調理しましょう。  
②調理の前後、トイレやおむつ交換の後などは、必ずせっけんを洗いましょう。  
③調理器具の使用後は、ときどき次亜塩素酸ナトリウム(塩素系漂白剤)に浸して殺菌しましょう。  
④嘔吐物や便を処理するときは、マスクと手袋を着用し、周りを汚染させないようにしましょう。  
【インフルエンザ増加の兆し】  
今週のインフルエンザの報告数は56件で、流行シーズン入りしました。インフルエンザは、1~3月にかけて流行するため、熊本県でも、今後、報告が増えることが予想されます。  
①手洗い・うがいを習慣づける②栄養、休養、睡眠を十分に取る③部屋の換気と保温に心がける④流行時には人混みを避けるなどの対策を行いましょう。